

令和5年度 花巻市立矢沢中学校「部活動のあり方に関する基本方針」

【適切な部活動体制の推進】(国・県・市から新たに示された方針)

- 部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであり、参加を義務付けたり、活動を強制したりしないよう、留意する。
- 大会で勝つことやコンクール等の上位入賞のみを重視し過重な練習を強いることがないよう、生徒の健康面やスポーツ医・科学の観点を踏まえた指導を行うとともに、体罰や生徒の人格を傷付ける言動等の根絶を図る。
- 過度の練習が生徒の心身に負担を与え、部活動以外の様々な活動に参加する機会を奪うこと等を正しく理解する。

【適切な運営のための体制整備】

- 適切な運営のための体制を整備し、開かれた部活動をつくる。
 - ・ 校長は、部活動の指導方針(ねらい・指導体制・休養日や活動時間の設定等)について、教職員、部活動指導員、保護者、外部指導者等が共通理解を図る機会(部活動連絡会等)を設定する。
- 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組により、指導の充実を図る。
 - ・ 生徒の心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。
 - ・ 運動部顧問は、スポーツ医・科学の見地を踏まえ適切な指導や科学的トレーニングの積極的な導入等により、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を工夫して行う。
 - ・ 文化部顧問は、生涯を通じて文化的活動等に親しむ基礎を培うことができるよう、生徒とコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトすることなく、技能の向上等それぞれの目標を達成できるよう、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を工夫して行う。
- 適切な休養日等を設定し、ゆとりある生活を確保する。
 - ・ 部活動休養日及び活動時間の基準を下記の通りとし、できるだけ短時間で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
 - 週当たり2日以上(平日1日以上、週末1日以上)の休養日を設ける。
 - 1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とする。
 - ・ 各部の顧問は、年間並びに毎月の活動計画及び活動実績(活動日時・場所、休養日及び大会参加日等)を作成し、校長に提出するとともに、生徒・保護者への情報提供を行う。
 - ・ 部活動を補完する活動(保護者会・スポーツ少年団等)が行われる場合は、部活動と合わせて基準を超えない活動とする。夜の活動は、生徒が家庭学習と睡眠時間を確保できるよう配慮する。
 - ・ 長期休業中は、学期中に準じた扱いとする。
 - ・ 生徒が多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設ける。
 - ・ 部活動休養日に大会参加等で活動した場合は、他の日に振り替える。
 - ・ 学校の休業日に大会参加等で基準とする活動時間を上回った場合は、他の日の活動時間を調整する。
- 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化活動に親しむ環境を整備し、楽しく安全な部活動をつくる。
 - ・ 学校は、多様な学びの場である部活動への生徒の参加を奨励し、次の4つを目標にして指導します。
 - ① 活動を通して生徒の個性を伸ばし、体力の向上と心豊かな生徒の育成をめざす。
 - ② 生徒の自主性を尊重し、スポーツや文化の楽しさや喜びを味わわせる。
 - ③ 自己の能力に応じた目標を設定させ、苦しいことから逃げ出さず根気強く最後までやり遂げる生徒を育てる。
 - ④ 仲間と協力しながら活動させ、豊かな人間関係の醸成を図る。
 - ・ 学校は、部の所属が本人にとってより良い選択となるよう、本人および保護者とよく相談し、柔軟に対応する。
 - ・ 校長は、保護者や地域の指導者と連携して、子どもの健全な成長に向けた活動の充実を図る。
 - ・ 校長は、競技力の向上以外にも、友達と楽しめる、適度な頻度で行える等、生徒の多様なニーズを踏まえ、生涯にわたるスポーツ・文化芸術に親しむことにつながる部活動の運営を推進する。
- 学校単位で参加する大会等を見直し、持続可能な部活動にする。
 - ・ 校長は、生徒の教育上の意義や、生徒や部顧問の負担が過度とならないことを考慮して、参加する大会等を精査する。
 - ・ 校長は、中長期的な見通しのもとで、学校規模に応じた部活動数の検討を継続する。
 - ・ 学校は、活動の継続が難しくなった場合、生徒ともに部の内情に即して柔軟に対応の在り方を検討する。
- 部活動中の熱中症事故の防止に努める。
 - ・ 校長及び部顧問は、部活動の実施に当たり、生徒の健康状態の把握に努めるとともに気象情報等に留意し、適切に対応する。
 - ・ 高温や多湿時においては、こまめな水分・塩分の補給や休憩の取得、生徒の健康管理を徹底する。熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、早期の水分・塩分の補給や体温の冷却、病院への搬送等、適切な対応を徹底する。